

PHP 1つのブログ記事を変数で表現！

PHPを始めるにあたり、必ず『変数』が出てきます。

変数はPHPを使うにあたり、なくてはならない存在です。

今回は1つのブログ記事変数で表現する方法を、何回かに分けて紹介していきます。

(目次)

- 変数にデータを入れる
- 変数を出力
- 定数



■ 変数にデータを入れる

まず初めに、変数（箱）にデータを入れていきます。

- `$title` : ブログ記事のタイトルです。
- `$content` : ブログ記事の本文です。
- `$_POST_at` : 作成日の日付です。
- `$tag` : タグ付です。

```
try.php ×
try.php
1  <?php
2
3  $title = "PHP始めます";      タイトル
4  $content = "PHP始めます";    本文
5  $_POST_at = "2019/9/14";     日付
6  $tag = ["php","プログラミング"]; タグ
7
8  ?>
```

■ 変数を出力

では変数に入れたデータを出力していきます。

- ・ echo : 文字列の出力。
- ・
 : 改行。
- ・ print_r :

```
8  echo "$title";
9  echo "<br>";
10 echo "$content";
11 echo "<br>";
12 echo "$_POST_at";
13 echo "<br>";
14 print_r ($tag);
15
16 ?>
```

ブラウザで表示 

← → ↻ ⓘ http://localhost:8888/try.php

PHP始めます

PHP始めます

2019/9/14

Array ([0] => php [1] => プログラミング)

■ 定数

ブログを投稿する際になどに、これは何番目の記事の投稿ですよ、など番号やIDを振りわてる事があります。
そんな時には『定数』を使います。

定数とは；鍵のついた箱のこと。

上書きしてはいけないデータを定義するために使う。

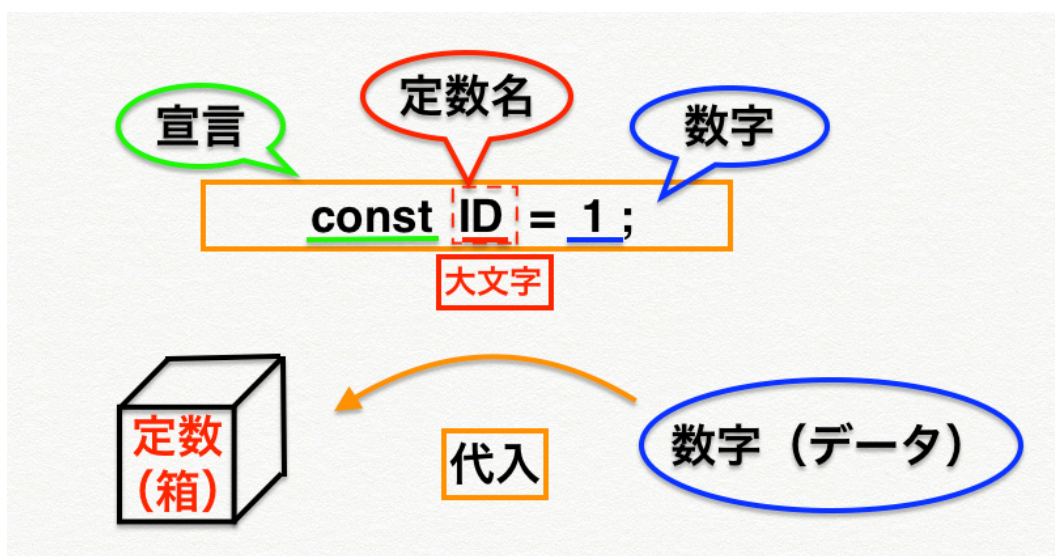
例えば...

1ヶ月毎の家計簿をパソコンで付けてるとします。

食費を計算する時に税別でレシートに記載されている為、自分で消費税を足さないといけません。

その時に、消費税をかける際に10%が15%になったりしたら計算がおかしくなってしまいますよね？

そのように絶対に変えてはいけないデータを入れる箱が『定数』になります。



エディタで表示 

```
8  const ID =1;
9  宣言 定数名 データ
10 echo ID; ← 定数の出力
11 echo "<br>";
12 echo "$title";
13 echo "<br>";
14 echo "$content";
15 echo "<br>";
16 echo "$_POST_at";
17 echo "<br>";
18 print_r ($tag);
19
```

ブラウザで表示 

← → ↻ ⓘ http://localhost:8888/try.php

① ← 定数

PHP始めます
PHP始めます
2019/9/14
Array ([0] => php [1] => プログラミング)

